



深良保育園の年長児が アマゴの放流

(10月26日)

狩野川水系水質保全協議会裾野長泉支部が石脇の親水公園で、深良保育園の年長児18人とアマゴの放流を行いました。園児は子ども用のバケツを園から持参し、体長20センチほどのアマゴを2～3匹ずつ入れて公園内の川に放しました。放流したアマゴは200匹。初めは生きた魚に驚く子どももいましたが、次第に慣れてきて「元気でね」「ばいばい」と言いながら放流していました。

特産品大和芋の目ぞろえ会

(10月27日)

JAふじ伊豆大和芋部会裾野支部が、大和芋の坪掘共励会と出荷目ぞろえ会を行いました。審査の結果、飯塚芳正さん、渡邊和雄さんが優等に輝きました。

大和芋部会裾野支部の渡邊和雄部会長は「今年は優劣をつけることが難しい程の高品質な仕上がりだった。地元の人に食べてもらえるよう、イベントでも生産者自らPRしていきたい」と意気込みを語りました。



景ヶ島の遊歩道に花の植栽

(10月28日)

富岡第一小学校6年生が、郷土学習の一環でリバーフレンド富岡と協働で、景ヶ島溪谷の歩道沿いに7種類約330本の花を植えました。リバーフレンド富岡の会員から花の植え方を説明され、花の色、種類のバランスなどを考え、会員と子どもたちが相談しながら工夫して花植えをしました。グループごとに特色を生かした花植えが出来上がりました。

裾野高校生が西保育園で 手作りおもちゃをプレゼント

(11月1日)

裾野高校1年生6人が西保育園を訪れ、園児に手作りの時計をプレゼントしました。これは、同校1年生の保育体験の授業の一環として行われたもので、市内の公立幼稚園・保育園児573人分が各園にプレゼントされました。

時計はどれも違ったデザインで、受け取った園児たちはうれしそうにお互いの時計を見せ合っていました。





旧植松家住宅の掃除ボランティア (11月3日)

国指定重要文化財の旧植松家住宅のボランティア清掃が行われました。応募した15人のボランティアが隅々まできれいに掃除しました。

畳は茶殻で掃き、板の間は米ぬかで磨くなど掃除方法は昔ながらのものです。

旧植松家住宅は展示会や演奏会など、自由な発想で様々な利用ができます。問い合わせは生涯学習課 (☎994-0145) までお願いします。

東地区コミュニティ祭 (11月6日)

東地区コミュニティ祭が向田小学校グラウンドや体育館で開催されました。

園児の太鼓演奏や小学生の鼓笛演奏に区民や保護者が声援を送り、久々の発表に催し物会場が盛り上がりました。模擬店コーナーでは、東地区の各団体がカレーライスやおでんを販売した他、体育館で老人クラブが輪投げ大会を開催して楽しい一日となりました。

広報特派員 小林 建次



西地区コミュニティまつり (11月6日)

西地区コミュニティまつりが西小学校グラウンドで開催されました。

会場の中央では園児の和太鼓や西中学校吹奏楽部の演奏が披露され、多くの保護者が来場していました。各種出店のサポートには西中学校の117人のボランティアが加わり、工作や遊びのコーナー、模擬店は長蛇の列で盛り上がりました。

広報特派員 杉本 武満

官民協働で上水道の防災訓練 (11月8日)

市と上水道協力は、大規模地震が発生したことを想定し、被害状況の把握や発災時の適切な対応の確認、仮設給水所の設置訓練などを行いました。訓練には職員や協会会員32人が参加しました。

上水道協会の中川会長は「水道は生活に欠かせないライフラインです。意識を高く持ち訓練に望んでください」と挨拶しました。

